

会議録

会議の名称	男女平等推進センター企画運営委員会 平成26年度 第8回
開催日時	平成27年3月19日（木曜日） 午後6時から8時15分まで
開催場所	男女平等推進センター1階活動室
出席者	委員：吉田委員長、白井副委員長、齋藤(三)委員、加藤委員、本橋委員、長坂委員、 齋藤（博）委員 欠席：田崎委員 事務局：日下部課長補佐、杉山主査
議題	1 第7回企画運営委員会会議録の承認について 2 平成27年度企画提案事業について 3 仮称「懇談のつどい」について 4 今後の会議日程について 5 その他（情報誌の構成）
会議資料の名称	資料1 第7回企画運営委員会会議録（案） 資料2 男女平等推進センター企画事業方針 資料3 男女共同参画週間事業 資料4 男女平等推進センター事業企画書 参考：男女平等推進センター登録団体一覧
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>（開会）</p> <p>議題1 第7回企画運営委員会会議録の承認について</p> <p>・異議なしによって承認</p> <p>議題2 平成27年度企画提案事業について</p> <p>1 男女共同参画週間事業(6月)</p> <p>映画「何を怖れる」について</p> <p>事務局：</p> <p>交渉してみたが、委託か賃借料の対象となり市事業としては、予算を組んでいないので実施は難しい。実行委員会形式もあるが、市の週間事業としての位置づけや団体の公募をこれから行うには期間が短い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映画の評判を聞くと、内容が難しいらしい。 ・今回は映画を見合わせることにするならば、代替案として、齋藤孝さん（明治大学教授）と大沢真知子さん（日本女子大学）が上がっていたとおもわれるが、そちらは大丈夫なのか。 	

事務局：

「生きる力を育てる学力」と「オンナの私が働くために必要なことを教えて」のタイトルで提案のあったものであるが、双方とも交渉の途上であり、特に齋藤先生は著名な方であり予算的には折り合わない公算が大である。今回、大沢先生が本命であると考えている。

- ・大沢先生に講演頂く内容が今少しわかりにくいので整理されたい。
- ・「女性を活用しなければ企業は生き延びられない」女性の活用が企業の成長にとって不可欠といわれている今、日本はどのような対応をしていくべきなのか。日本を始め、アメリカやヨーロッパの経済と女性の関係を研究してきた先生に、女性ひとり一人の意識の持ち方についてお話をいただき、来場者の質疑応答を通して課題を共有していきたいと考えていますとしたい。

2 基礎講座「ほっとひと息！てしごとカフェ」

26年度事業として実施したものであるが、内容的に好評であったので再度提案をした。

3 基礎講座「避難行動要支援者対策と女性参画について」

第3次男女平等参画推進計画の重点課題として防災まちづくりへの女性参画を推進することが取り上げられている。危機管理室との協働で男女平等参画の観点を含んだ講演会の実施をする。

4 共通講座「アラ還世代の男塾」

1回目短編映画の「さくらとサクラン」

西東京市に唯一残る雑木林の「西原自然公園」の自然保護する活動を紹介する短編映画の上映と製作者池田さんのトーク

2回目「西原自然公園の散策」

映画製作者の池田さんにガイドをお願いし、公園を散策する。

3回目「地消地産をすすめる料理」

都市農業の振興をすすめる農協の知育の会の奥田さんに地元野菜で作る料理の指導をお願いする

審議結果

1 は映画を取りやめ、第2、第3候補を引き続き交渉していく。また、2、3、4は採択とする。

議題3 仮称「懇談のつどい」について

- ・懇談のつどいの目的は何なのか。
- ・企画運営委員会は市民意見を反映するものと考えているが、センター登録団体連絡会を立ち上げる必要があることを懇談のつどいで話す。
- ・連絡会はどのような立場にあるのか。
- ・企画運営委員会の企画事業について意見を述べ、事業を推進していく。
- ・団体が自分たちの団体事業を推進する形になる懸念はないか。
- ・企画運営委員と団体及び市民とが交流することにより、委員の世代交代を円滑に進める要因にもなりセンターの活動が発展継承されるものと考えている。
- ・センターが市民に知られていない現状をどのように考えられているのか、どうすればセンターの活動の中身を知らしめていけるのか、意見を聞きたい。
- ・センターの企画運営における情報を得る機会として、連絡会を開催する意義はある。
- ・市が主催し会で話し合われたことを、企画運営委員会に諮り審議の参考にするのは良いのではないか。
- ・話の中身としては、26年度事業の実績報告をして今後の意見をもらうことも大事

- ・ただし、団体が連絡会の開催を望んでいるのかは疑問（懇談のつどいの確認）
- つどいを開催する。市が団体と委員を招集し、次の目的で話をすすめる。
- ・26年度企画事業についてのご意見について
 - ・27年度企画事業へのご提案について
 - ・団体連絡会の開催について
 - ・センターパリティとしての認知度を上げるためのご意見について

議題4 今後の会議日程について

次回日程について、4月24日（金曜日）午後6時からとする。

議題5 情報誌パリティの構成について

事務局：

1 特集記事の提案として、15号には男女共同参画週間事業の講演会の内容を掲載したいと思う。

男女共同参画週間事業の講演会の内容とする。

事務局：

2 続いてのインフォメーションは市の産業振興課が発行している「匠」ナビに出ている市内企業女性社長をとりあげるのと、メディアリテラシィの分野からフェリス女子学院大学の諸橋先生に取材をするのとどちらがよいか。

・特集がワーク・ライフ・バランスとなる公算が大きいことから、成功している企業人を取り扱うとすると、しつこい感じがする。であるならば、メディアリテラシィが良いと思う。

・以前は毎回のようにメディアリテラシィを取り上げていたが、久しぶりであるので賛成である。

・渋谷区の対応がどのようなものなのか知りたい。LGBTの知識についても知っておくべきと考える。

・インフォメーションは、メディアリテラシィとLGBTする。特にLGBTは渋谷区の同行に注意する。

事務局：

3 登録団体紹介はある程度終わっているが、前回参考にした表のとおりまだ紹介していない所があるが取扱いを決めたい。

- ・表の順番からすると次回は女性史研究会かと思うが。
- ・女性史研究会は諸事情から後回しにしてほしい。
- ・つぎのパープルリボン・プロジェクトをすすめる会がよい。
- ・パープルリボン・プロジェクトをすすめる会とする。

事務局：

4 本の紹介とあとがきについても決めていただきたい。

順番から考えることが出来るため、本の紹介は本橋・加藤・白井、あとがきは吉田・齋藤(博)・田崎・齋藤(三)の各委員が担当する。

(閉会)

以上